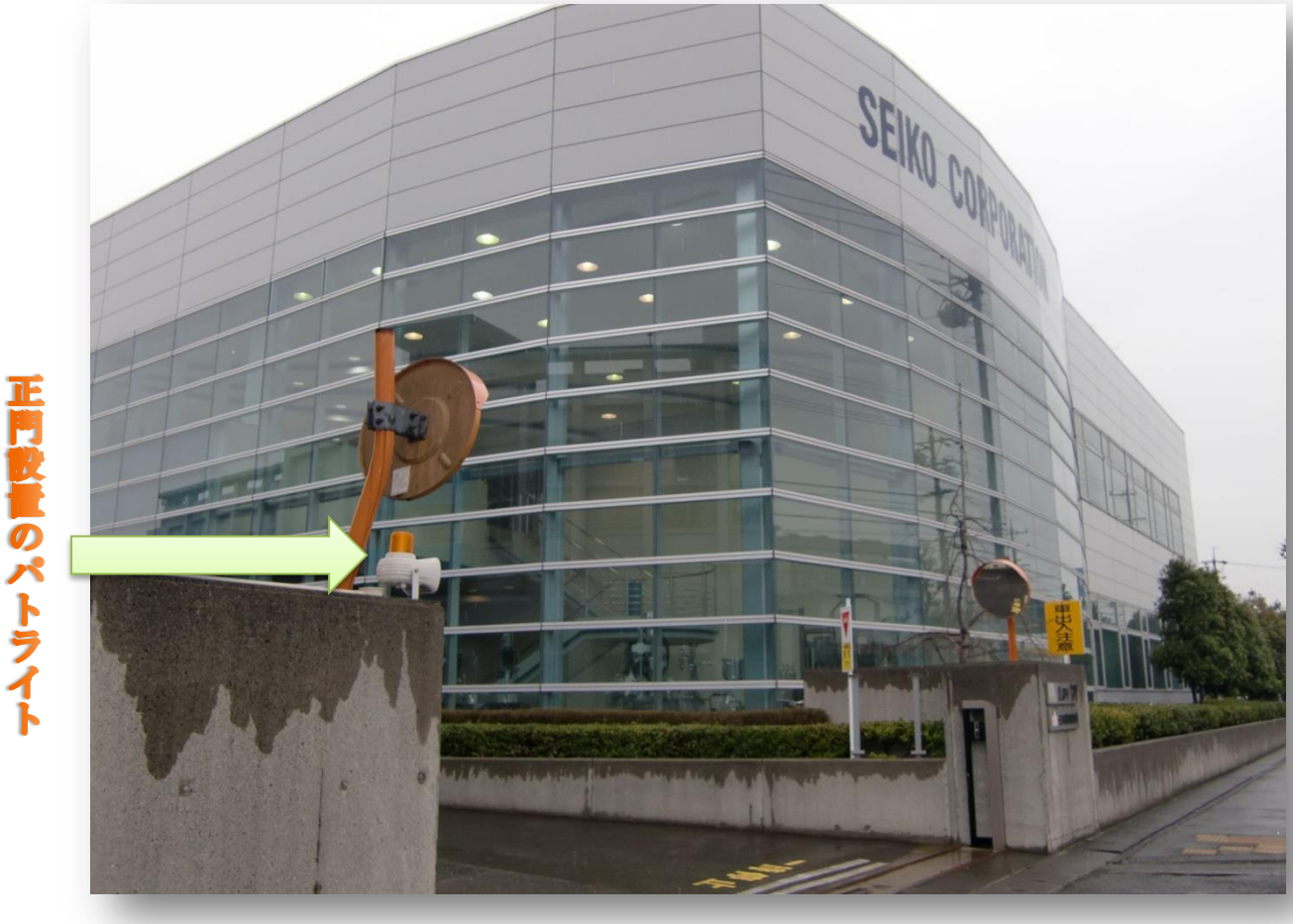
一般社団法人　静岡県安全運転管理協会

“わが社の安全マインドづくり”

３月 16 日(月)、清水地区の平成２６年度推進事業所である

「靜甲株式会社」（静岡市清水区）

に小野清水地区事務局長とともに訪問しました。



今回の取材に対しては、安全運転管理者である倉島智美総務課長とともに、澤口壽男顧問の同席を得て、１年間にわたる「安全運転管理推進事業所」活動についてのお話しをお聞きしました。

冒頭、倉島課長から

社員の安全意識の高揚と事故防止の徹底を活動の基本とするとともに、各種方策・諸活動を通じて“社会に貢献する”とする当社の経営理念に沿って“地域貢献実現”を図ってまいりました。

との説明をいただきました。

“具体的活動”について、引き続き倉島課長からお話しをいただきました。

この１年間に行った主な活動としては、

- ○　「推進事業所横断幕」掲出による社内外に対する意識付け
- ○　推進事業所指定を契機に若手社員「安全リーダー（３名）」の指定
- ○　歩道歩行者への注意喚起のため正門にパトライトを設置
- ○　安全運動期間中の社員駐車場での立哨（安全運転指導）
- ○　新入社員の安全教育（清水警察署担当官による交通安全講話と「Ｋ２」の実施）
- ○　大型連休前に交通安全に関する「社内通知」を発出
- ○　全社有車に“ハンズフリー”の設置と、“ライトオンステッカー”の貼付

などのほか、清水地区安管協会の指導・協力のもと

管内推進事業所３事業所（当社・清水区役所・小糸製作所）共同活動として

- ○　「安全リーダー連絡会議」の開催
- ○　清水区役所主催によると「交通安全イベント」への参加
- ○　年末の「交通安全宣言書」の提出

という、地区独自の活動も展開しました。

さらに、活動目的の一つであります“社会貢献”として

「“会社周辺の清掃活動とカーブミラーの清掃”を雨の日以外の毎朝、社員の交代参加で継続実施」

を達成できたことが大きかったと思っています。

と活動推進とその効果等のお話しがありました。

１年間、推進事業所として活動を推し進めたことについて、倉島課長は

「活動や方策についての社員への周知徹底の難しさを常に感じていました。

また、各種通知の発出の際には“この活動は実際に効果があるのか？”“社員の安全意識は実際に高まるのか？”などを考えてしまうこともしばしばありました。」

との苦労話を語って下さいました。

県下各地区において指定された「安全運転管理推進事業所」５０事業所の皆様。

１年という長期間にわたる各種の交通安全活動の展開お疲れ様でした。

皆様の活動は、機関誌「安全運転管理しずおか」誌面での紹介のみならず、実際の活動現場において、社員・職員の皆様をはじめ、家族・市民・県民の皆様にも“交通安全の重要性”を広く訴えていただいたものと確信しております。

「推進事業所」としての活動は、３月末日を持って終了となりますが、これら活動のノウハウを活かしていただき“交通安全”にますます取り組んでいただくことをお願いいたします。

なお、平成２６年度推進事業所の取材は、４月中旬に静岡南地区「矢崎化工㈱」５月中旬に静岡中央地区「㈱稲葉商店」を訪問いたします。

詳細記事は「安全運転管理しずおか」5月号に掲載

今回の取材でお聞きした安全運転管理の諸対策・諸活動の詳細につきましては、機関誌「安全運転管理しずおか」５月号の誌面にて掲載する予定でおりますのでお待ち下さい。